枚方淀川探鳥会 2026年11月

ここ数日急な冷え込みがあり、北国、そして富士山など高い山では、雪情報が続いています。淀川本流にカモの仲間が渡来している筈、お天気も良いので、楽しみに探鳥会を進めたいと思っています。

2026年(令和8年)11月1日(日) 9:00～12:00
日本野鳥の会大阪支部
前田初雄、甲田正二、西脇淳浩、香月清宏
松井正夫、新名泰博、平　軍二（☎090-6901-1425）

Ⅰ 今月の鳥アオアシシギ



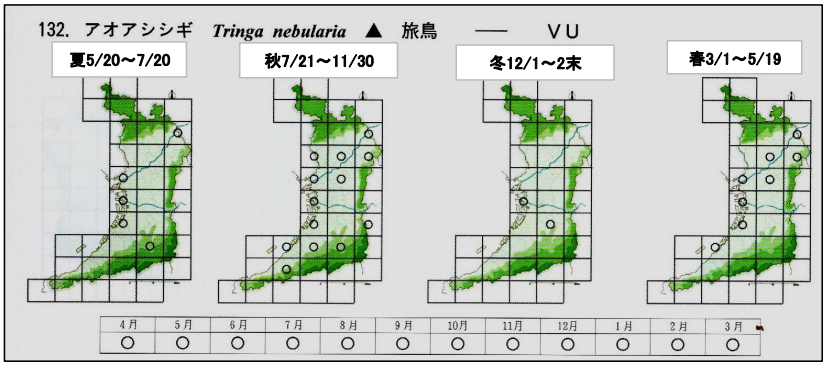
←①アオアシシギ　チドリ目シギ科クサシギ属

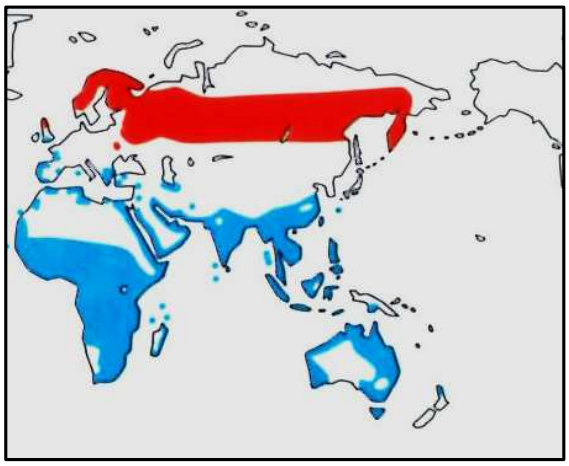
学名　*Tringa nebularia*　英名 Common Greenshank
漢字名　青足鷸　　L 35cm

アオアシシギは、枚方淀川探鳥会では最近13年間で1回のみ観察しており、先月が2回目という稀れな鳥である。
先月は小雨の中をスタート、やや雨が強くなったため中止すべきところ、前日下見をしてくださった松井リーダーより、「黒田川でアオアシシギを見た」との情報があった。
淀川本流（黒田川合流点）にいたアオアシシギを全員で観察することができ、気持ちよく終了できた。

②大阪府のアオアシシギ
（大阪府鳥類目録2016）→

大阪府では主に旅鳥として春季と秋季に、内陸の河川や湿地・埋立地、渡来する。
大阪南港野鳥園や、夢洲では秋季に数10羽の群を観察した記録がある。





←　③世界のアオアシシギ　2000年平凡社
真木広造・大西敏一　（日本の野鳥590）

ユーラシア大陸の亜寒帯に繁殖地があり、アジア～アフリカ大陸の熱帯地方・南半球の温帯地方にかけ越冬地がある。
このため、日本では春・秋の渡りの季節に観察できることになる。

Ⅱ 2026年10月探鳥会結果

天野川に出ると探鳥会資料に今月の鳥としたモズが出て、その後も良く鳴いた。淀川堤防から関西医大の文字盤「関医」を見ると先月とほぼ同じ場所にハヤブサ、さらに医大病院屋上にもハヤブサがいた。
淀川本流はこのところの雨で流れが早く、カモ類はいなったが浅瀬にダイサギ・アオサギ・コサギ・カワウなど、また天野川にはイソシギ・キセキレイがいた。
開始時からのぽつぽつ雨が途中からやや強くなってきたが、「昨日、黒田川でアオアシシギを見た」との情報があり、黒田川まで行くこととした。黒田川合流点の本流内にある中州にアオアシシギが見つかり全員で観察後、出発点の「ラポールひらかた前」へ戻り、鳥合わせ・解散とした。
雨の音もあり秋の渡りの小鳥が確認できなかったことから、観察種数は24種にとどまったが、この2012年からの14年間で2回目となるアオアシシギを見ることができたなどもあり、雨が気にせず終えることができた。



Ⅲ① 探鳥会観察チェックリスト（第8版）

観察回数は、平が担当した2012年1月～昨年2024年12月までの13年間での観察回数です。
100回以上は留鳥、50回前後は冬鳥or夏鳥、10回以下は珍鳥？

第8版	科名	鳥名	観察回数	2025 9	10	11	12	9	10	11	第5次RL ランク	第4次	変化	第8版
				7	5	2	7	6	4	1				
12	カモ	マガン	1											12
18		ツクシガモ	3		雨									18
23		トモエガモ	2		天	○								23
24		シマアジ	1		中									24
26		ハシビロガモ	9		止		1							26
27		オカヨシガモ	52				55							27
28		ヨシガモ	21											28
29		ヒドリガモ	48											29
30		アメリカヒドリ	6											30
32		カルガモ	97			○	4							32
33		マガモ	58			○								33
34		オナガガモ	8											34
35		コガモ	62											35
39		ホシハジロ	46				31				NI	無	2+	39
40		アカハジロ	6								CR	DD	4+	40
41		メジロガモ	1											41
43		キンクロハジロ	47			○	256				VU	無	3+	43
44		スズガモ	7			○	2							44
56		ミコアイサ	2											56
58		カワアイサ	50				6							58
59		ウミアイサ	3											59
64	キジ	キジ	54	1		○	2							64
69	アマツバメ	アマツバメ	2								VU	無	3+	69
80	カッコウ	ホトトギス	2											80
82		ツツドリ	2											82
83		カッコウ	1											83
89	ハト	キジバト	193	4		○	3	6	3					89
96	クイナ	クイナ	19											96
100		バン	23								VU	無	3+	100
101		オオバン	55			○	94							101
103		ヒクイナ	7											103
117	カイツブリ	カイツブリ	51			○	11							117
119		カンムリカイツブリ	64			○	23							119
121		ハジロカイツブリ	4											121
127	チドリ	タゲリ	1											127
128		ケリ	27											128
134		イカルチドリ	9					2						134
135		コチドリ	32											135
136		シロチドリ	4								VU	VU		136

第8版	科名	鳥名	観察回数	2025 9	10	11	12	2026 9	10	11	第5次RL ランク	第4次	変化	第8版
				7	5	2	7	6	4	1				
144	シギ	チュウシャクシギ	2											144
163		トウネン	1		雨						NT	無	2+	163
165		ハマシギ	1		天						VU	NT	1+	165
183		タシギ	5		中									183
188		イソシギ	89	2	止	○	2	1	2					188
190		クサシギ	3											190
192		キアシシギ	2											192
198		アオアシシギ	1						1					198
213	カモメ	ユリカモメ	22											213
221		ウミネコ	3								VU	無	3+	221
222		カモメ	3											222
226		セグロカモメ	20											226
233		コアジサシ	9								EN	VU	1+	233
270	アビ	シロエリオオハム	1											270
315	ウ	カワウ	122	57		○	9	3	11					315
319	トキ	ヘラサギ	1								EN	DD	2+	319
320		クロツラヘラサギ	1											320
328	サギ	ゴイサギ	10				1				VU	無	3+	328
330		ササゴイ	18								VU	無	3+	330
332		アマサギ	3								EN	無	4+	332
333		アオサギ	124	4		○	7	3	3					333
335		ダイサギ	120	3		○	12	3	4					335
337		コサギ	111	8		○	9	5	6		VU	無	3+	337
343	ミサゴ	ミサゴ	75			○	4		1					343
344	タカ	ハチクマ	2											344
352		ツミ					1							352
353		ハイタカ	36				4				NT	NT		353
354		オオタカ	27								NT	NT		354
355		チュウヒ	2								EN	EN		355
356		ハイイロチュウヒ	1											356
359		トビ	102	1		○	2	1						359
363		サシバ	1								VU	VU		363
366		ノスリ	37											366
371	フクロウ	オオコノハズク	1											371
384	カワセミ	カワセミ	106	2		○	3	1	1					384
389	キツツキ	アリスイ	10											389
390		コゲラ	102	1										390
394		アカゲラ	6											394
402	ハヤブサ	チョウゲンボウ	57			○	1		1					402
407		ハヤブサ	31			○	2	1	2		VU	NT	1−	407

Ⅳ 次回12月6日（日） 午前9時　ラポールひらかた前

今日と同じようにHPの専用フォームからお申し込み願います。

昨年12/7はキンクロハジロの大群を含めカモ 7種、ゴイサギ・コサギなどサギ4種、ミサゴ・ハイタカ・ハヤブサなど猛禽6種、ツグミ・シメ・ベニマシコなど冬の小鳥と多く、47種も観察できた。



20251207　キンクロハジロの大群（平）

第8版	科名	鳥名	観察回数	2025 9	10	11	12	2026 9	10	11	第5次RL ランク	第4次	変化	第8版
				7	5	2	7	6	4	1				
411	サンショウクイ	サンショウクイ	1											411
419	カササギヒタキ	サンコウチョウ	1		雨									419
425	モズ	モズ	114	1	天	○	12	2	8					425
435	カラス	ハシボソガラス	125	6	中	○	57	13	11					435
436		ハシブトガラス	116	3	止	○	3	4	4					436
440	シジュウカラ	ヒガラ	1											440
442		ヤマガラ	7											442
447		シジュウカラ	116	3		○	4	7						447
448	ツリスガラ	ツリスガラ	1											448
450	ヒバリ	ヒバリ	68											450
456	ヒヨドリ	ヒヨドリ	175	2		○	215	23	32					456
458	ツバメ	ショウドウツバメ	6											458
461		ツバメ	64	5										461
462		イワツバメ	54			○	60							462
463		コシアカツバメ	23	2		○		8						463
464	ウグイス	ウグイス	118			○	2							464
467	エナガ	エナガ	93				1							467
476	ムシクイ	センダイムシクイ	1											476
479		エゾムシクイ	1											479
481		メボソムシクイ	5											481
482		オオムシクイ	5								FN	無	4+	482
484	ヨシキリ	オオヨシキリ	33											484
485		コヨシキリ												485
497	セッカ	セッカ	32											497
501	メジロ	メジロ	103	4			4	3	7					501
502	キクイタダキ	キクイタダキ	8											502
507	ムクドリ	ムクドリ	113	28		○	55	35	1					507
509		コムクドリ	5											509
512		ホシムクドリ	2											512
525	ツグミ	マミチャジナイ	1											525
526		シロハラ	54											526
527		アカハラ	2											527
531		ツグミ	60			○	4							531
532		ハチジョウツグミ												532
533	ヒタキ	エゾビタキ	9											533
534		サメビタキ	2											534
537		コサメビタキ	18					1						537
539		オオルリ	4											539
543		ノゴマ	1											543

第8版	科名	鳥名	観察回数	2025 9	10	11	12	2026 9	10	11	第5次RL ランク	第4次	変化	第8版
				7	5	2	7	6	4	1				
550	ヒタキ(続)	キビタキ	16											550
554		オジロビタキ	1		雨									554
556		ルリビタキ	1		天									556
561		ジョウビタキ	60		中	○	3							561
564		イソヒヨドリ	39	2	止	○		2	2					564
568		ノビタキ	13											568
575	スズメ	スズメ	125	30		○	80	5	18					575
584	セキレイ	キセキレイ	42			○	3		2					584
585		ハクセキレイ	116			○	14		10					585
586		セグロセキレイ	109	3		○	3	2	1					586
595		タヒバリ	35			○								595
597	アト	アトリ	29											597
598		シメ	42			○	5							598
600		イカル	17											600
606		ベニマシコ	44				3							606
608		カワラヒワ	114	2		○	7		2					608
613		マヒワ	6											613
618	ホオジロ	ホオジロ	119	1		○	4							618
622		ホオアカ	0											622
625		カシラダカ	23								EN	無	4+	625
626		ミヤマホオジロ	1											626
633		アオジ	70			○	9							633
637		オオジュリン	17											637
9	キジ	コジュケイ	13											9
11	ハト	カワラバト(ドバト)	121			○	51	10	4					11
30	ムクドリ	ハッカチョウ	1											30
		カッコウSP	5											
		アイガモ	3											
		メボソムシクイSP	7											
		ヒタキSP	3											
種数合計(自動計算)				24		42	47	23	24					
個体数合計(自動計算)				175			1144	141	137					
探鳥会参加者数				12		28	39	20	32					

13年間観察回数	1～2回
	100回以上
樹林伐採影響でいなくなる種	

2012年1月～2024年12月の13年間
①観察回数の少ない種（1～2回）
②観察回数多い種（100回以上）
③樹林伐採の影響を受けると思われる種

レッドリスト　絶滅危惧ランク

野生絶滅	ⅠA類	ⅠB類	Ⅱ類	準絶滅	情報不足	無
EW	CR	EN	VU	NT	DD	―

Ⅲ②環境省第5次レッドリスト

7月探鳥会資料に環境省第5次レッドリストを入れ簡単に説明しました。その後、いろんな種のランクを見比べた結果、第5次絶滅危惧ランク設定に2つの流れがあると思われることを、9･10月に続いて再録しました。

①全国の生息数が数百羽～千羽程度で、絶滅危惧が高いとしてこれまで保護されていた希少種で、生息環境が安定し個体数が少しずつ増えている種については、絶滅危惧ランクが下げられる方向にある。

⇒コウノトリ(CR→EN:1-)、トキ（EW→EN：2-）、タンチョウ（VU→NT：1-）、ハヤブサ（VU→NT：1-）

②一方、全国の生息数が数万羽レベルと思われ、枚方淀川探鳥会で普通に観察できることから、これまで絶滅の心配が全くないと思っていた普通種が、全国的に生息環境が悪化方向にあり生息個体数減少のレベルが大きいとして、絶滅危惧にランクインし、しかも大幅アップした種がある。

⇒キンクロハジロ（無→VU：3+）、バン（無→VU:3+）、コサギ（無→VU:3+）、カシラダカ(無→EN:4+)

この結果、*「希少種と思われるハヤブサ（NT）よりも、普通種のキンクロハジロ・バン・コサギ（VU）の絶滅レベルが上」*という、不思議な状況になっている。

Ⅴ （愛称）野鳥通りの今昔



（愛称）野鳥通りの変化写真を　先月に続いて再録